



# フィン級東京オリンピック代表選考大会

期間：2021年5月9日（日）～5月14日（金）

場所：神奈川県 相模湾 葉山新港

主催：公益財団法人日本セーリング連盟

協力：日本フィン協会

## 帆走指示書

### 1 規則

- 1.1 セーリング競技規則 2021-2024(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
  - 1.2.1 [SP]：レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは規則 63.1、A5.1、A5.2 及び A10 を変更している。
  - 1.2.2 [NP]：この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。
- 1.3 規則 70.5(a)に基づき、プロテスト委員会の判決を最終とする。
- 1.4 クラス規則 C6.2 が適用される。

### 2 広告【DP】【NP】

艇は主催団体から支給された場合、広告ステッカーを艇に貼付しなければならない。

### 3 コミュニケーション

- 3.1 公式掲示板は[LINE オープンチャット]と可能であれば、葉山港 3 階会議室前とする。
- 3.2 競技者とのコミュニケーション  
大会は、ソーシャルディスタンスを保つため可能な限り「LINE オープンチャット」で行うこととする。  
※LINE での質問・問い合わせはご遠慮ください。
- 3.3 審問は、対面と「Zoom ミーティング」を使用して行うことがある。
- 3.4 海上では、レース委員会は VHF 無線で支援艇に連絡を行う。  
チャンネル 7 2
- 3.5 [DP]緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

### 4 帆走指示書の変更

- 4.1 帆走指示書(以下、「指示」という。)の変更は、当日の予告信号予定時刻の 60 分前までに掲示する。
- 4.2 レース日程の変更は、それが発行する前日の 18 時 00 分までに掲示する。

## 5 WEB 上で発する信号

- 5.1 WEB 上で発せられる信号は大会 LINE オープンチャットに掲揚される。なお陸上での掲揚は行わない。
- 5.2 回答旗が WEB 上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1 分」を 40 分以降と置き換える。

## 6 レガッタフォーマット

本レガッタはオープニングシリーズのみで構成される。

## 7 日程

### 7.1 レース日程

5月9日(日) 受付登録、計測 ※開会式はない

5月10日(月)～5月14日(金) レース

※レース初日最初の予告信号：10:00

※閉会式はない

7.2 最初の艇長会議は5月9日に行われる。

7.3 1日最大3レースまで行われる。

7.4 5レース以上成立した場合には、5月14日13:30より後に予告信号を発しない。

## 8 クラス旗

白地に青色 Finn 旗を使用する。

## 9 レース・エリア

Appendix A にレース・エリアの場所を示す。なお、期間中のレース海面は、毎朝のブリーフィングで参加艇に口頭で伝える。

## 10 コース

- 10.1 Appendix B の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2 コースの短縮は行わない。これは規則 32 を変更している。
- 10.3 予告信号以前もしくは同時にレース委員会信号艇に、最初のレグのおおよそのコンパス方位・距離を掲示する。

## 11 マーク

- 11.1 マークはオレンジ色円筒形とし、新しいマークは黒帯 2 本が付いたオレンジ色の円筒形とする。フィニッシュ・マークはピンク色の円錐形とする。
- 11.2 スタート・ラインとフィニッシュ・ラインはレース委員会艇とオレンジ色の円筒形かピンク色の円錐形である。

## 12 スタート

- 12.1 スタート・ラインは、レース委員会艇の「オレンジ色旗」を掲げたポールと、スタートマークのコース側の間とする。
- 12.2 スタート信号の4分以降にスタートする艇はDNSと記録される。これは規則A5.1及びA5.2を変更している。

## 13 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、新しいマーク(風上マーク)を設置する。実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合そのマークは元のマークで置き換える。

## 14 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、ポートの端にあるフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、スターボードの端のフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

## 15 ペナルティー方式

- 15.1 規則42違反に対し、付則Pを適用する。
- 15.2 規則P2.2は変更し、2回目以降のペナルティーに適用される。また、規則P2.3は適用されない。

## 16 タイムリミットと目標時間

- 16.1 タイムリミットと目標時間は次の通りとする。

Race Time Limit	Finish Window	Target Time
70分	10分	45～60分

- 16.2 マーク1にトップ艇が30分を越えて通過した場合には、レースは中止とする。
- 16.3 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュウインドウ内にフィニッシュしない艇はDNFと記載される。これは規則35、A5.1とA5.2を変更している。
- 16.4 目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している

## 17 審問要求

- 17.1 抗議および救済または審問の再開の要求は、「レース委員会事務局」で入手できる用紙に記入のうえ、締切時刻内に「レース委員会事務局」に提出しなければならない。
- 17.2 抗議締切時刻はWEB上に掲示する。抗議締切時刻は、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後のどちらか遅い方から60分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。
- 17.3 プロテスト委員会は、ほぼ受付順に審問を行う。審問の当事者および証人として指名された競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に通告を掲示する。
- 17.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を規則61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 17.5 規則42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを掲示する。

- 17.6 審問再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時 00 分までの間に限り求めることができる。ただし、5 月 14 日(金)はプロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 15 分以内に提出されなければならない。これは、規則 62.2 を変更している。

## 18 得点

- 18.1 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、レース委員会に書面で提出する事で得点及び、成績の訂正を要請する事が出来る。
- 18.2 本大会は 1 レースで成立とし、最大 12 レースである。
- 18.3 カットレース
- ・ 5 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
  - ・ 5 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

## 19 [DP] [NP]安全規定

### 19.1 [SP] チェックアウトチェックイン

- 19.1.1 出艇しようとする艇は、スタート時刻 30 分前までに「レース申告受付所」で申告をしなければならない。
- 19.1.2 帰着した艇は、その日の最後のレース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分後までに「レース申告受付所」で申告をしなければならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 19.2 リタイアしようとする艇および引き続き行われるレースに出走しない艇は、その意思を近くのレース委員会艇に伝え、すみやかにレース海面を離れなければならない。当該艇は、帰着後直ちに指示 19.1.2 の帰着申告を行わなければならない。

## 20 [DP] 装備の交換

損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会にテクニカル委員会に行われなければならない。

## 21 [DP] 装備と計測チェック

- 21.1 艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。
- 21.2 水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示された場合、従わなければならない。

## 22 運営の識別

運営艇の標識は次の通りである。

プロテスト委員会艇	JURY 旗
テクニカル委員会艇	M または Measurer 旗

## 23 支援艇

- 23.1. 支援艇は、密を避ける人数しか乗艇してはならない。(推奨 2~3 人程度)
- 23.2. 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m 以上 (Appendix C 参照) 外側にいなければならない。

## 24 ゴミの処分

ゴミは支援艇またはレース委員会艇・プロテスト委員会艇に渡しても良い。

## 25 リスク・ステートメント

規則 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

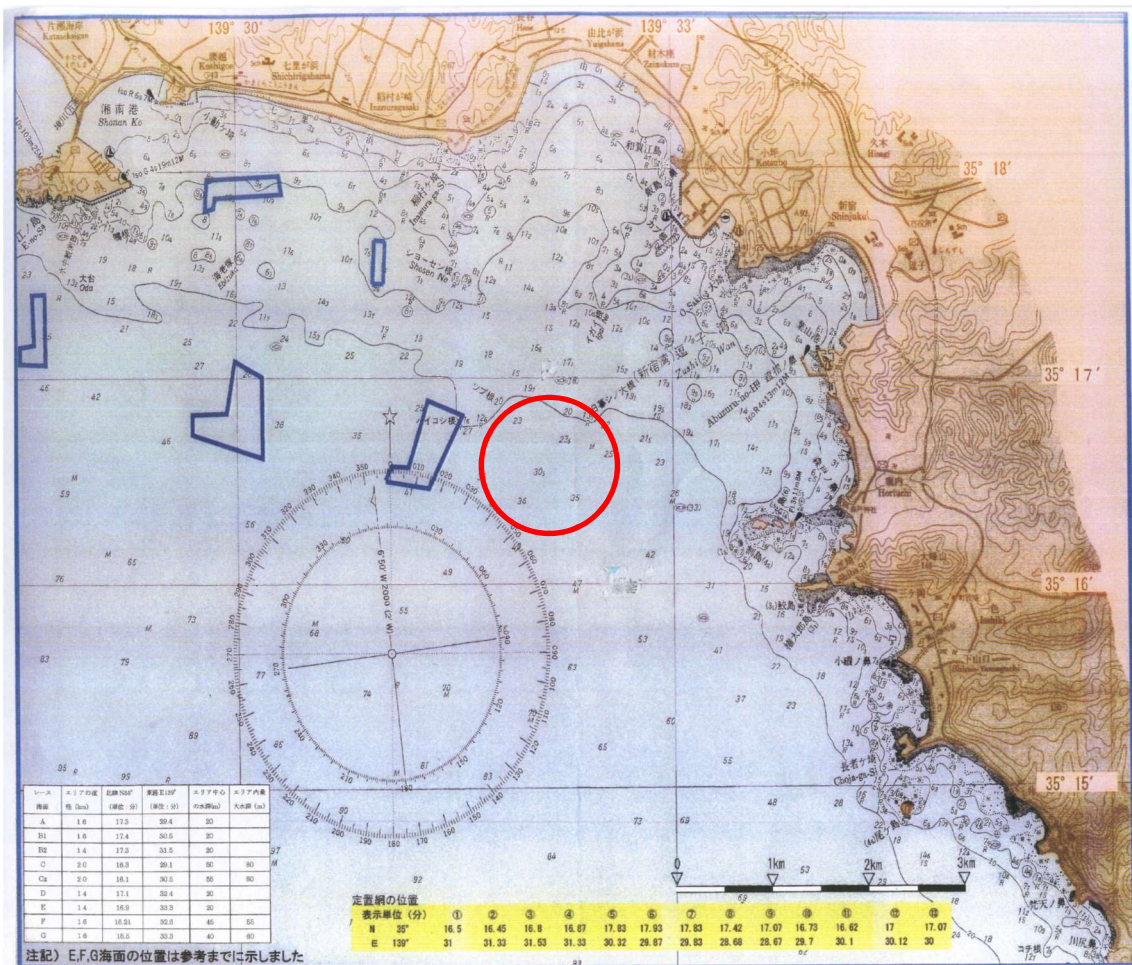
## 26 賞

優勝者を、2020 東京オリンピック代表選手として推薦する。

## 27 肖像権、カメラ及び電子機器

選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

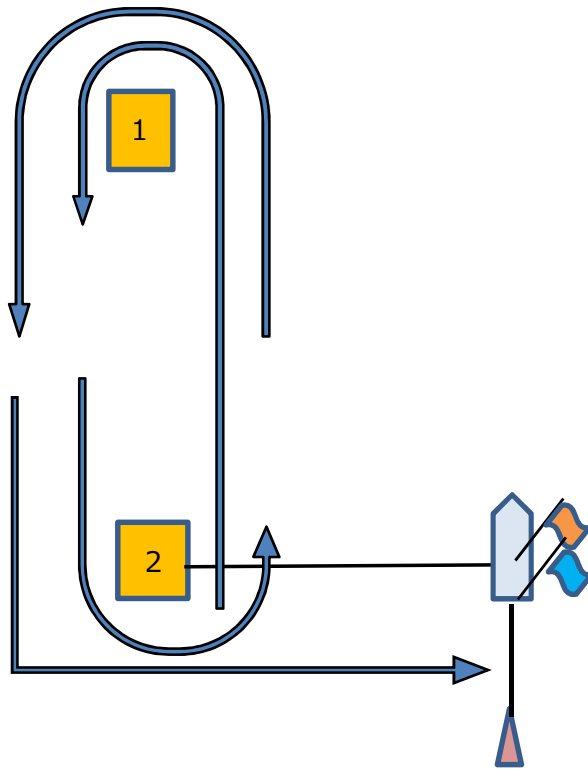
# SI Appendix A



# SI Appendix B

## コース図

Start-1-2-Finish



# SI Appendix C

